

みやざき中央支援学校 Q&A

【 校 訓 】

笑顔 いっぱい
力 いっぱい
夢 いっぱい



令和6年度

Q&A集を作成しました。
みやざき中央支援学校を少しでも
理解していただけますと幸いです。
もっと詳しくお知りになりたい場合
は、学校へお問合せください。

みやざき中央支援学校
教育支援部



目 次

| | |
|--|-----|
| Q1) みやざき中央支援学校は、どのような学校ですか？ | 1 |
| Q2) みやざき中央支援学校には、何人ぐらいの子供たちが学んでいるのですか？ | 1 |
| Q3) みやざき中央支援学校では、どのような教育が行われているのですか？ | 1 |
| Q4) 時間割は、どのようになっていますか？ | 2 |
| Q5) 「日常生活の指導」とは、どのような学習なのですか？ | 3 |
| Q6) 「生活単元学習」とは、どのような学習なのですか？ | 3 |
| Q7) 「自立活動」とは、どのような学習なのですか？ | 3 |
| Q8) 「作業学習」とは、どのような内容で行っているのですか？ | 3 |
| Q9) 「総合的な学習の時間」、「総合的な探究の時間」とは、どのような学習なのですか？ | 4 |
| Q10) 「交流及び共同学習」とは、どういうものですか？ | 4 |
| Q11) 卒業後の進路は、どうなっていますか？ | 5 |
| Q12) どのような行事がありますか？ | 6 |
| Q13) PTAでは、どのような活動が行われていますか？ | 6 |
| Q14) 通学の方法は、どうなっていますか？ | 7 |
| Q15) スクールバスのコースはどうなっていますか？ | 7 |
| Q16) 部活動はありますか？ | 7 |
| Q17) 特別支援学校に入学（もしくは転入）するにはどうすればいいですか？ | 8 |
| Q18) 学校には、制服がありますか？ | 9 |
| Q19) 通学や学習への補助はありますか？ | 9 |
| Q20) 寄宿舍への入舎要件等はどうなっていますか？また、どのような生活をしていますか？ | 10 |
| 県立みやざき中央支援学校案内図および連絡先 | 裏表紙 |

Q1) みやざき中央支援学校は、どのような学校ですか？

本校は、知的障がいのある児童生徒及び知的障がいのある肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校です。

小学部・中学部・高等部が設置されています。また、寄宿舍もあり、居住地が遠方で通学が困難な状況にも対応しています。

Q2) みやざき中央支援学校には、何人ぐらいの子供たちが学んでいるのですか？

| 学部・学年 | 小学部 | 中学部 | 高等部1年 | 高等部2年 | 高等部3年 | 合計 |
|------------|------|-----|-------|-------|-------|------|
| 学級数 | 24 | 15 | 7 | 7 | 7 | 60 |
| (重複障がい学級数) | (11) | (7) | (2) | (3) | (3) | (26) |
| 児童生徒数(人) | 93 | 59 | 45 | 40 | 36 | 273 |

(令和6年4月現在)

Q3) みやざき中央支援学校では、どのような教育が行われているのですか？

<本校の教育目標>

自立と社会参加を目指して、自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成

<本校の教育基本方針>

- ① 障がいの状態や特性、個々の発達段階を踏まえて専門性を生かした教育を行います。
- ② 計画的で組織的、なおかつ実態に応じて柔軟性のある取組を行います。
- ③ 小学部、中学部、高等部、寄宿舍がお互いに協力してキャリア教育を推進します。
- ④ 情報発信に努め、地域や保護者の方々に信頼される学校づくりを目指します。
- ⑤ 地域の特別支援教育センターとしての充実を図ります。
- ⑥ 児童生徒、職員が過ごしやすい教育環境の整備・充実に努めます。

<各教科の学習内容>

子供たちの障がい特性や一人一人の学力に応じた内容を準備して指導しています。また、子供たちは実際的な生活経験が不足しがちであることから、各教科等を組み合わせ、子供たちの興味関心を考慮し、生活に結びつけた学習活動や体験的学習（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習等）を中心に取り組んでいます。

Q4) 時間割は、どのようになっていますか？

各学部の実態に応じて時間割を編成しています。知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、この各教科等を合わせて指導を行うことが効果的です。そのため、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習などの形態で実践されてきており、それらを「各教科等を合わせた指導」と呼んでいます。

小学部1年生（Ⅱ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | 日生 | 日生 | 特活 |
| 2 | 体育 | 算数 | 体育 | 国語 | 自立 |
| 3 | 生単 | 体育 | 自立 | 音楽 | 音楽 |
| 4 | 生単 | 生単 | 生単 | 生単 | 生単 |
| 5 | | 日生 | 日生 | 日生 | 日生 |
| 6 | | | | | |

小学部6年生（Ⅰ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | 日生 | 日生 | 特活 |
| 2 | 自立 | 音楽 | 音楽 | 体育 | 体育 |
| 3 | 生単 | 体育 | 生単 | 生単 | 生単 |
| 4 | 自立 | 自立 | 自立 | 自立 | 自立 |
| 5 | 生単 | 生単 | 日生 | 生単 | 日生 |
| 6 | 日生 | 日生 | | 日生 | |

中学部1年生（Ⅱ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | 日生 | 日生 | 特活 |
| | 保体 | 保体 | 保体 | 保体 | |
| 2 | 国語 | 作業 | 数学 | 作業 | 音楽 |
| 3 | 保体 | | 保体 | | 美術 |
| 4 | 数学 | | 音楽 | | 美術 |
| 5 | 自立 | | 生単 | | 国語 |
| 6 | 生単 | 生単 | | 生単 | |

中学部1年生（Ⅰ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | 日生 | 日生 | 特活 |
| | 自立 | 自立 | 自立 | 自立 | |
| 2 | 自立 | 作業 | 自立 | 作業 | 音楽 |
| 3 | 保体 | | 保体 | | 生単 |
| 4 | 自立 | | 音楽 | | 生単 |
| 5 | 自立 | | 日生 | | 日生 |
| 6 | 生単 | 生単 | | 生単 | |

高等部1年生（Ⅱ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|-----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | LHR | 日生 | 日生 |
| | 生単 | 数学 | | 数学 | |
| 2 | 作業 | 国語 | 作業 | 生単 | 作業 |
| 3 | | 生単 | | 保体 | |
| 4 | | 生単 | | 国語 | |
| 5 | | 家庭 | | 音楽 | |
| 6 | 家庭 | 保体 | 音楽 | 美術 | |

高等部3年生（Ⅰ課程）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|----|----|-----|----|----|
| 1 | 日生 | 日生 | LHR | 日生 | 日生 |
| | 日生 | 日生 | | 日生 | |
| 2 | 作業 | 自立 | 作業 | 音楽 | 作業 |
| 3 | | 自立 | | 自立 | |
| 4 | | 保体 | | 自立 | |
| 5 | | 保体 | | 生単 | |
| 6 | 音楽 | 自立 | 生単 | 自立 | |

「各教科等を合わせた指導」

日生・・・日常生活の指導

生単・・・生活単元学習

自立・・・自立活動

作業・・・作業学習

Q5)「日常生活の指導」とは、どのような学習なのですか？

「日常生活の指導」は、一人一人の子供が、望ましい生活習慣を身に付け、日々の生活を充実させていくための学習です。

例えば、基本的な生活の内容として、衣服の着脱・洗面・手洗い・排泄・食事・清潔などの学習や、集団生活をする上で必要な内容として、あいさつ・言葉遣い・礼儀作法・時間を守ることなどの学習をします。本校では、小・中・高等部の児童生徒一人一人の実態に合わせて、時間を設けて、または、生活の流れの中で、一步一步の成長につなげる指導をしています。

Q6)「生活単元学習」とは、どのような学習なのですか？

子供たちが、学校や地域社会、家庭において積極的に活動し、生き生きと生活できることを目指した学習です。子供たちの生活上の課題やテーマに沿って単元を計画的に設定し、体験をとおして各教科の学習を進めていきます。例えば、『運動会』等の学校行事や『夏のくらし』『秋をさがそう』等の季節のテーマ、『買い物ごっこ』『お誕生会』等の子供たちの身近な生活に沿ったもの等があります。その他、子供たちの実態や興味・関心を踏まえながら、学年、学級の実態に応じたバラエティーに富んだ学習が計画されています。

Q7)「自立活動」とは、どのような学習なのですか？

「自立活動」の指導は、子供一人一人が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善したり、克服したりするために必要な知識・技能・態度及び習慣を身に付けるための学習です。自立活動は、次のような6つの区分から個々の子供の実態に応じて必要な事項を選定し、相互に関連づけて指導するようになっています。

- ①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成
- ④環境の把握 ⑤身体の動き ⑥コミュニケーション

詳しくは特別支援学校学習指導要領解説「自立活動編」をご覧ください。文部科学省のホームページからも閲覧できます。

Q8)「作業学習」とは、どのような内容で行っているのですか？

児童生徒の将来を考えた職業生活の基盤づくりのため、本校では中学部から作業学習に取り組んでいます。内容としては、中学部は、「園芸」「環境整備」「生活」「手工」「加工」の5種目の作業に取り組んでいます。高等部では、「職業（接客サービス・メンテナンス・OA）」「農業」「工業」「環境整備」「家政」「オープン」の6種目の作業内容があります。また、産業現場等における実習等にも取り組み、より社会生活を見据えた学習を行っています。

Q9)「総合的な学習の時間」、「総合的な探究の時間」とは、 どのような学習なのですか？

「総合的な学習・探究の時間」は、よりよく問題を解決する力や表現する力を育て、また、学び方を学んだり自分の在り方について考えたりする力を育てる学習です。中学部の「総合的な学習の時間」では、「交流学习」「進路学習」「主権者教育」などの学習に取り組んでいます。高等部の「総合的な探究の時間」では、生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理・分析をして、まとめるといった能力の育成を目的としています。学年ごとにテーマを設定し（1年生…「地域を知る」 2年生…「社会を知る」 3年生…「社会に出る前のたしかめ」）、『調べる・話し合う・確かめる』をキーワードに、学習に取り組んでいます。

Q10)「交流及び共同学習」とは、どういうものですか？

交流及び共同学習とは、特別支援学校の児童生徒が、日頃交流の少ない小・中学校・高等学校の児童生徒と一緒に学ぶ学習活動のことです。

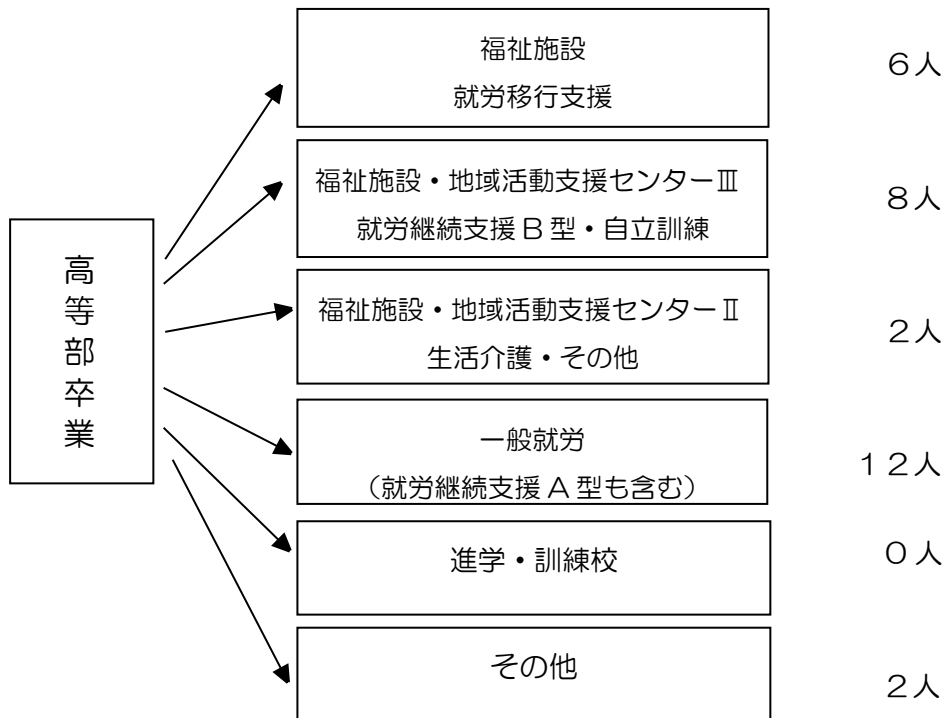
本校では、「学校間交流」と、小学部と中学部が「居住地校交流」に取り組んでおり、「学校間交流」では、直接交流を行っています。これまで造形活動や演奏会などといった活動を通して、楽しく交流してきました。本校の児童生徒はいつも次の交流を心待ちにしています。交流後には、間接交流として感想文が送られてくることが多く、そこには、障がいのある子供たちへの印象が変わったり、身近に感じるようになったりという小・中学校の児童生徒の新鮮な感想が毎回書かれています。

「居住地校交流」では、本校の小学部、中学部の児童生徒が自分の住んでいる地域の小学校、中学校に行き、年に1～2回の交流を行っています。令和5年度は、小学部17名11校、中学部8名6校の実績でした。



Q11) 卒業後の進路は、どうなっていますか？

本校では、小学部6年生で作業学習体験、中学部でしごとチャレンジ・親子職場体験、高等部で産業現場等における実習等、仕事に関わる学習を行っています。また、保護者向けの学習会や施設見学等も行っており、積極的な進路支援を行っています。



※ 人数は令和5年度卒業生の進路

<過去の主な就労職域>

- 食品加工
- クリーニング業
- 農業芝園芸業
- 惣菜製造業
- 販売補助
- 菓子製造業
- 縫製工場
- 100円ショップ
- 自動車部品販売
- ドラッグストア
- 病院介護補助
- 清掃業（病院・介護施設内）
- 電気部品組立
- スーパーマーケット
- 建築業（建設）
- 自動車部品工場
- 複合A型（ハウス・受注・弁当・清掃）
- 特例子会社（工芸・事務系）
- 精密機械工場
- プラスチック加工
- 運送業
- 調理補助
- パン製造業
- ホテル業（ベッドメイキング等）
- ファストフードショップ
- 飲食店
- 畜産業
- 仕出し
- 選果場



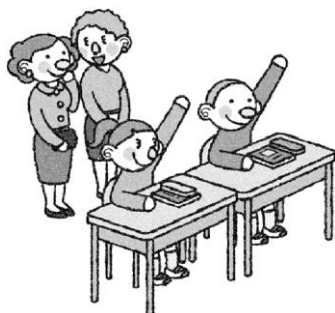
Q12) どのような行事がありますか？

本校の大きな行事には、運動会や遠足、みや央祭、修学旅行などがあります。

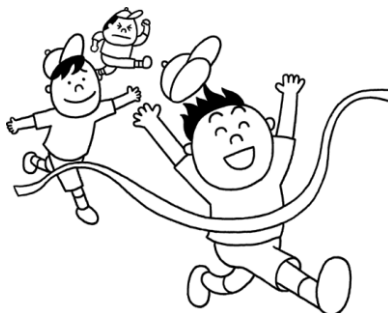
特に本校のみや央祭は、児童生徒・職員が一体となって行われる本校独自の伝統的な行事です。

| 1 学期 | 2 学期 | 3 学期 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・PTA総会 ・運動会 ・しごとチャレンジ（中学部） ・産業現場等における実習（高等部） | <ul style="list-style-type: none"> ・みや央祭 ・しごとチャレンジ（中学部） ・産業現場等における実習（高等部） ・校内デイキャンプ（小学部5年生） ・修学旅行（小学部6年生） （中学部3年生） （高等部2年生） | <ul style="list-style-type: none"> ・球技大会（高等部） ・スプリングコンサート（高等部） ・ゆめいろステーション ・お別れ遠足（小学部） ・卒業式 |

参観日



運動会



校外実習

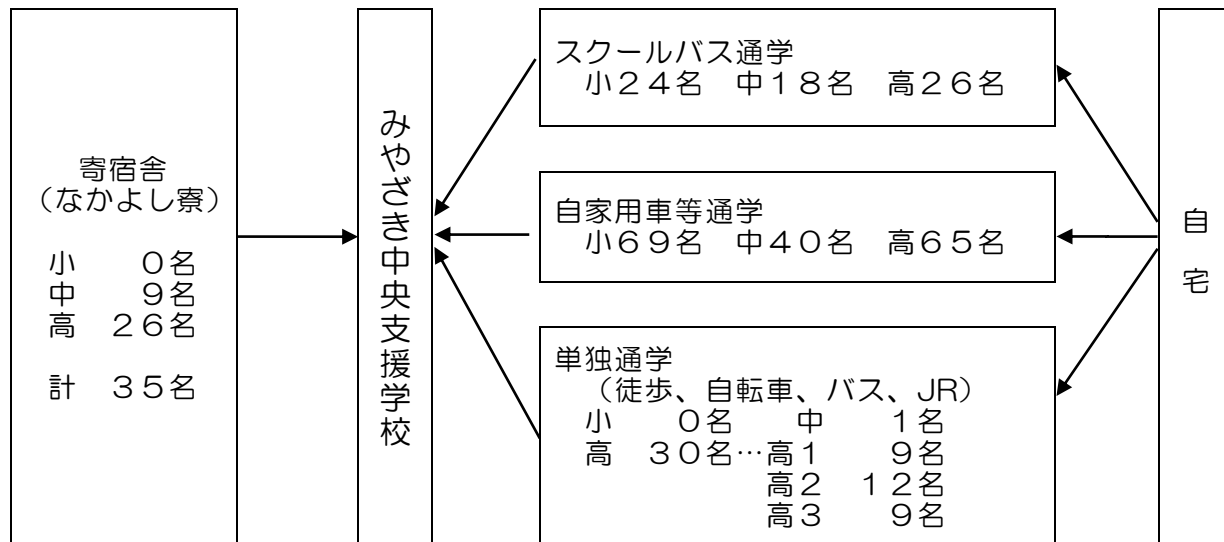


Q13) PTA では、どのような活動が行われていますか？

本校の PTA 活動では、地区会、学級委員会、専門委員会（進路開拓・広報・保健体育・ひろがり・ベルマーク）などが設けられています。研修会、PTA 会報の発行、有価物回収などの様々な活動を通して、学校と家庭の協力関係づくりに努力しています。活動の回数や時間帯は、各専門委員会によって異なり、活動学年は、小学部2年生、小学部4年生、中学部3年生、高等部2年生となっています。

Q14) 通学の方法は、どうなっていますか？

みやざき中央支援学校には、小学部93名・中学部59名・高等部121名、計273名の児童生徒が在籍しています。内訳は次の図のとおりです。（令和6年4月現在）



※自家用車通学、寄宿舍帰省の補助については、9ページのQ19)をご参照ください。

Q15) スクールバスのコースはどうなっていますか？

宮崎市内のコースと、西都市・高鍋町・新富町・佐土原町の2つのコースがあります。

Q16) 部活動はありますか？

みやざき中央支援学校には次の部活動・放課後活動があります。これらの活動に参加している生徒は、障がい者スポーツ大会や高校総体、高校駅伝大会等に出場し、たくさんの記録を残し活躍しています。

| | |
|-------|--------------|
| 部活動 | 陸上部 |
| | バスケットボール部 |
| 放課後活動 | フライングディスククラブ |
| | 卓球クラブ |
| | 音楽クラブ |
| | 美術クラブ |



Q17)特別支援学校に入学(もしくは転入)するにはどうすればいいですか？

(小・中学部への入学の場合)

小学部…各市町村教育委員会の就学担当者へご相談ください。

中学部…在籍の小学校へご相談ください。

(転入の場合)

在籍の小中学校へご相談ください。その後、小中学校を通して、各市町村教育委員会の就学担当者へご相談ください。

入学・転入どちらの場合も学校見学をお願いします。学校見学は、所属の学校を通して申し込んでください。

本校へ入学又は転入が決まりましたら、本校小・中学部では1月に体験入学を行います。入学に関する細かな説明やお子さんの実態把握なども行います。

(高等部の場合)

本校高等部進学を考えている場合は、あらかじめオープンスクールへの参加(中3生対象)や教育相談が必要です。学校を通じてご連絡ください。高等部入学者選考については、2学期に募集要綱が公示され、その後願書配付(12月)、願書受付(1月)が行われる予定です。入学者選考の内容は、運動検査と課題検査、面接等です。各中学校、特別支援学校中学部の卒業生で入学を希望しており、公的機関による知的障がいの判定を受けていれば受検できます。詳しくは、本校へお問い合わせください。

(入学・入学者選考に関する各学部の行事)

| 小学部 | 中学部 | 高等部 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">就学相談(市町村)就学前健康診断体験入学(1月) | <ul style="list-style-type: none">体験入学(1月) | <ul style="list-style-type: none">オープンスクール(7月末予定)入学者願書受付(1月)入学者選考(2月)合格発表(2月)入学説明会(3月) |



Q18) 学校には、制服がありますか？

本校は、県内の特別支援学校で唯一小学部から制服を導入している学校です。入学時には、制服を購入することになり、ジェンダーフリーの制服にも対応しています。また、合わせて校内で着用する校内着（体操服）や作業服（中学部・高等部）もあり、同時に購入することになります。

Q19) 通学や学習への補助はありますか？

特別支援学校への就学の特殊事情を考慮し、保護者等の経済的負担を軽減するため、国がその経費を一部負担する制度があります。（以下、これを就学奨励費といいます。）支給を受けるためには、毎年関係書類を提出し、県教育委員会での決定を待たなければいけません。主な支給内容には、次のようなものがあります。

- ①教科用図書購入費（高等部）
- ②学校給食費
- ③交通費（通学費・帰省費・現場実習費）
- ④新入学児童生徒学用品・通学用品購入費
- ⑤学用品・通学用品購入費
- ⑥修学旅行費（校外活動等参加費を含む）
- ⑦寄宿舍経費（食費・寝具購入費・日用品等購入費）

また、保護者の世帯の収入状況、世帯員数等により、支給区分が次の三段階に分かれています。

第1段階・・・支給対象経費の全額補助

第2段階・・・支給対象経費の半額補助

第3段階・・・下記①②のみ補助

ただし、次のものは段階に関係なく、全額補助となります。

①教科用図書購入費・ICT機器購入費（高等部のみ）

②交通費（通学費・帰省費）

「支給内容」「金額」「手続き」等、就学奨励費について詳しくお知りになりたい方は、本校事務室までお問い合わせください。

○宮崎県立みやざき中央支援学校（0985-39-1633）

Q20) 寄宿舍の入舎要件等はどうなっていますか？また、どのような生活をしていますか？

寄宿舍の入舎を希望する場合は、「入舎願い」を提出し、入舎検討委員会を経て校長が許可します。入舎の要件は、下記のいずれかの条件に該当する者となっています。

- (1) 遠距離等のため通学困難である者
- (2) 身辺自立ができる者
- (3) 校長が教育上必要と認める者

現在中学部9名、高等部26名、計35名が生活し、寄宿舍指導員や学校の先生方と楽しく過ごしています。寄宿舍では、毎日の日課に沿って生活し、仲間と協力し合い、自分のできることは自分で行うように一人一人が努力しています。様々な係活動やお楽しみ会、サマーライブ等の楽しい行事もあります。

春季・夏季・冬季の休業日、土曜休業日、その他学校で定める一斉帰省日は閉舎します。また、必要と認められた場合は、許可を得て帰省することができます。

主な日課表 (月～木)

| | |
|------|-----------------|
| 起床 | 6:30 |
| 朝食 | 7:30 |
| 登校 | 8:35 |
| 下校 | 15:25 |
| 入浴 | 15:30 ～16:50 |
| 掃除 | 17:10 |
| 夕食 | 17:30 |
| 入浴 | 18:10 |
| 学習時間 | 19:30 |
| 自由時間 | 20:00 |
| 消灯 | 21:30 |

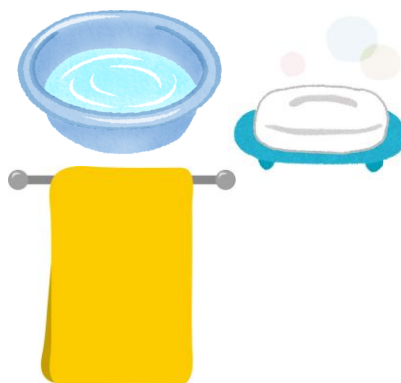
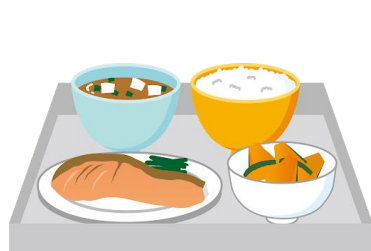
経費

*舎費 月1600円（保護者の会費、おやつ代を含む）
（トイレットペーパー、薬品、寄宿舍行事費等）

*食費（1日）1080円

持参する物

四季に応じた衣類、寝具一式、洗面道具一式、雨具、その他日用品



–Memo–

みやざき中央支援学校案内図



宮崎県立みやざき中央支援学校

〒880-0121 宮崎市大字島之内 2100 番地

学 校 TEL 0985-39-1633

FAX 0985-39-6046

寄宿舍 TEL 0985-39-1153

ホームページアドレス <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/9932>